



本村幼稚園 2月の園だより

令和4年1月31日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

1年間の子供の成長を「生活発表会」

園長 山村 登洋



二十四節季の大寒を過ぎました。この先、三寒四温を経て一歩ずつ春が近づいてきます。寒さはもうしばらく続きそうです。特に今年はラニーニャ現象のせいかな寒さが厳しいです。そんな

厳しい寒さの中でも子供たちはパワー全快!園内で楽しく活動しています。子供たちのパワーにはただ圧倒されるばかりです。

2月3日は節分です。旧暦では「立春」が一年の始まりとされ、新年を迎えるにあたって悪霊や災難を追い払うための「追儺(ついな)」という行事を行い、新しい年を迎えていたと言われています。節分になぜ豆を使うのかというと、豆は「魔滅」に通じ、ヒイラギの葉や鰯の頭などと同様に邪気を払う力があるとされているからだそうです。



今年にはコロナ対応で子供たちが作った鬼に向かって豆まきをします。子供たちの無病息災を願って楽しみながら節分の会を行いたいと思います。



そして、いよいよ2月5日(土)は1年間の締めくくりの行事「生活発表会」が開催されます。1月から子供たちは、この発表会のために劇遊び、音楽遊びを通して一生懸命に準備して

きました。今回も子供たちの対話や意見交換を大切にして進めてきました。この話し合い活動は、自分の考えや意見を言ったり、逆に人の意見を受け入れたりすることで、人として大切な相手を尊重する精神を育成していくものです。今回はコロナ感染拡大防止対策として、分散での開催となります。本来なら、はと組、りす組の子供たちの成長を皆さんに見ていただきたかったと心から思います。緊張しながらも一生懸命に演技している子どもたちの姿に感動し、子供たちの達成感、自己肯定感の向上が感じられる発表会になると思います。

